

平成16年4月13日

株式会社高島屋 (8233)  
株式会社クレディセゾン (8253)

## 高島屋とクレディセゾン カード事業の戦略的提携に基本合意

新クレジットカードを共同開発  
高島屋がクレディセゾン株式を一部保有、  
クレディセゾンが高島屋クレジットに10%出資へ

この度、株式会社高島屋（本社：大阪市中央区、代表取締役社長 鈴木 弘治）と株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役社長 林野 宏）は、両社のさらなるクレジットカード事業拡大のため、新クレジットカードを共同開発し、また、高島屋によるクレディセゾン株式の一部保有、および、高島屋のカード事業部門を担う高島屋クレジット株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 西濱 剛久）へのクレディセゾンの出資を含めたパートナーシップの構築を通じて、戦略的提携を行なうことに基本合意しましたのでお知らせ致します。

提携の内容は以下の3点

1. 両社のパートナーシップの構築  
高島屋とクレディセゾンは、高島屋の多様化する顧客ニーズに対して魅力的なカードの開発・運営を通じた、両社のパートナーシップを構築するための戦略的提携に基本合意しました。
2. 新クレジットカードの共同発行  
今回、高島屋とクレディセゾンは協力してカードマーケティングに注力し、「顧客第一主義」の視点に立つ、より幅広い顧客層に対応した、魅力的なカードを共同で企画・発行します。新クレジットカードには、《セゾン》カードの持つサービス・機能を付加し、さらなる利便性の拡大を図るとともに、両社協力して、新規会員の獲得を目指します。
3. 資本提携  
高島屋がクレディセゾン株式を一部保有するとともに、クレディセゾンは高島屋の100%子会社である高島屋クレジットの発行済株式の10%を取得し、戦略的提携のパートナーシップを構築致します。現在、高島屋クレジットは、自社で発行するタカシマヤカード会員を擁し、また高島屋からはゴールドカードのプロセッシング業務を受託しています。今回の高島屋クレジット株式の一部譲渡の目的には、クレディセゾンより、既存カード会員向けサービスの向上ノウハウの提供を受けることが含まれます。

## 提携のメリット

高島屋は、優れた顧客サービス開発力を保有するクレディセゾンのノウハウの提供を受けることで、より幅広い顧客層に対応した新クレジットカードの発行により売上増大、来店頻度の向上、商圈の拡大等、百貨店事業の強化が可能となります。また、高島屋クレジットは、高島屋の既存カード事業を担っており、クレディセゾンの事業ノウハウ導入による経営基盤強化が図れます。

クレディセゾンは、百貨店業界トップの高島屋との提携により、カード会員の増大をはかることが出来ます。共同開発する新クレジットカードは、高島屋での利用はもとより、ショッピング全般を中心とした利便性を追求し、幅広い顧客層に魅力的なカード設計を目指します。さらに、百貨店カード専門首位の高島屋クレジットに資本参加し、クレディセゾンのノウハウを提供することにより、サービス品質の向上、既存のゴールドカード、タカシマヤカードのサービス向上に寄与し、事業価値をさらに高めていけるものと考えております。

新クレジットカードの機能、サービス内容の詳細については、今後両社で決定してまいります。新たなポイント制度や現在クレディセゾンが発行する《セゾン》カードのサービスを付加する方向で検討しております。また、お客様へのサービスの提供を目的とした高島屋店内へのクレジットサービスカウンターの設置、お客様の希望に応じた柔軟な返済機能（リボ払い等）の追加や利用可能なATM網の拡大、店頭臨時カードの発行、短期間での本カード発行などお客様の利便性の向上を目指します。

### 【お問い合わせ先】

株高島屋広報室	<東京広報室>	電話03-3246-4351
〃	<大阪広報室>	電話06-6631-5499
株クレディセゾン広報室		電話03-3982-0700

## 会社概要

### 株式会社高島屋（東証、大証一部上場：8233）

資本金：390億円

事業内容：百貨店業、建装業、不動産業、金融・リース業ほか

売上高：1兆1,144億円（2004年2月期）

高島屋は、全国に20店舗を展開する百貨店グループです。日本橋、横浜、新宿、大阪、京都と、東西の大都市に大型店をバランス良く配置していることが最大の強みです。売上高業界ナンバーワン企業としてのスケールメリットを商品調達、販売促進など様々な政策に生かしながら、「上質生活百華店」を目指しています。「上質生活百華店」とは、商品のクオリティは当然のこと、心地よい、楽しいという精神的な満足感を充足させる空間づくりや、すべてのお客様がご利用しやすい設備の充実など、「ゆとり」「やすらぎ」「つどい」をキーワードに、有形無形の「華」で店舗を満たそうとする様々な試みの高島屋としての表現です。

### 株式会社クレディセゾン（東証一部上場：8253）

資本金：633億円

事業内容：クレジットカード・金融・小売ほか

取扱高：2兆9,698億円（2003年3月期）

クレディセゾンは、サービス先端企業として、新しい時代のカードビジネス思想を確立し、クレジットカード1企業になることを目指しています。現在、VISA / MasterCard / JCB / AMERICAN EXPRESSという4つの国際ブランドと提携した国際カード、《セゾン》カードを発行し、2003年3月末においてカード会員数1,490万人とクレジットカード会社でトップレベルの地位を獲得しています。クレディセゾンでは業界に先駆けてポイント無期限化を導入するなど、常に顧客視点でのサービス開発に注力しております。今後もお客様に喜んでご利用いただけるファーストカードを目指して更なるカード事業の強化を推進してまいります。

### 高島屋クレジット株式会社

資本金：1億円

事業内容：クレジットカード・保険代理店業ほか

取扱高：5,351億円（2004年2月期）

高島屋クレジットは、VISA / MasterCard / JCBと提携した「タカシマヤカード」を発行し、百貨店ハウスカードでは業界トップクラスの約320万人のカード会員に幅広くご利用いただいております。2003年10月からは、タカシマヤカードのポイント率を7%から8%にアップするとともに年会費制度を導入し、サービスの更なる向上に努めております。